



札幌市 まちなか生き物活動事業

コウモリが飛ぶ！みどい豊かなさっぽろのまち

～大人のための生物多様性講座～

【開催内容のご案内】

1) 開催日時

平成26年9月1日 17:30～20:00 (開場 17:00)

※雨天時は、内容を一部変更して実施いたします。

2) 開催場所

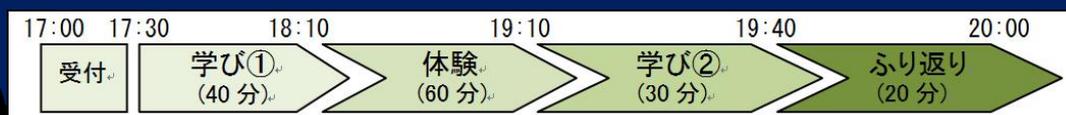
ロイトン札幌 3階 エメラルドルームA

住所：札幌市中央区北1条西11丁目1

(アクセスマップはこちら ⇒ <http://www.daiwaresort.jp/royton/access/>)

3) タイムスケジュール

タイムスケジュールは以下のフロー図に示すとおり、学び(座学)と体験(野外観察)の2部構成とし、体験は、コウモリ類がねぐら木から飛び立つ時間帯に合わせて実施します。



4) 学びの内容

学び①:「都市に生息する野生動物」

さっぽろ市街地に形成されている生態系を題材とし、植物園をめぐらとするヤマコウモリの他に、駐車場ビルで繁殖するオオセグロカモメ、カラス類の巣を二次利用して子育てを行うチゴハヤブサといった、都市に生息する野生動物について紹介します。これにより、生物多様性が身近なものであることの理解を深めます。

本テーマについては、野生動物の研究家、兼プロカメラマンである中島宏章氏(札幌在住)をお招きし、ご自身の実体験を交えた話題提供等でご協力いただきます。



中島宏章氏 (1976年札幌市生)

市内を拠点として写真家として活動するとともに、コウモリ類などに関する書籍も執筆。

学び②:「生物多様性とは？」

- ・温暖化と並ぶ地球環境問題となっている「生物多様性」について、わかりやすく解説します。
- ・参加者の皆様には、この講習を基に自分たちが課せられている生物多様性の保全に関する使命や、次世代の子供たちへ残す自然環境について考えていただきます。

講習の流れ

- テーマ1: 生物多様性とは
- テーマ2: 生物多様性はなぜ大切なのか
- テーマ3: 生物多様性の危機
- テーマ4: 生物多様性を守るために

5) 体験の内容

北海道大学植物園には、「ヤマコウモリ」が生息しています。「ヤマコウモリ」は、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類、北海道レッドデータブックで希少種に選定されている森林性のコウモリ類です。

「ヤマコウモリ」は、北海道大学植物園の大木をねぐらとして利用し、ビジネスパーソンが一日の仕事を終えて家路につく夕暮れ時にそのねぐらから飛び立ち、街明りに集まる昆虫類等(=餌)を求めて活動します。

本イベントの体験では、生き物が寝静まっていると思われるがちな時間帯である夜に「ヤマコウモリの出巢観察会」を行います。

夕暮れ前にバットディテクター*を持ってヤマコウモリがねぐらから飛び立つのを待ち構え、バットディテクターから「ピュッピタンタン」等のコウモリ類が発する超音波が聞こえたら、植物園付近に着目し、市街地を舞うヤマコウモリを探索します。

徐々に薄暗くなっていく中で、忙しく行き交う車や、点滅する電飾等を背景に、ヤマコウモリが次々と札幌の街へと繰り出し、昆虫類を探餌する姿をじっくりと観察します。

*バットディテクター=コウモリ類が発する超音波を感知し、機械音に変換する機械。



ヤマコウモリ

翼を広げると400mmを超える大型のコウモリ。一般的には大木が多数ある自然林の林縁部に生息する。昆虫類を捕まえて食べる。

【当日雨天の場合】

雨天の場合は、ヤマコウモリの出巢の観察は難しいため、室内での座学を中心に、バットディテクターで感知したコウモリ類の超音波音声や、ヤマコウモリの出巢シーン画像等を紹介する予定です。

6) お問い合わせ

株式会社地域環境計画 北海道支社 生物多様性推進室

担当:松岡 Tel:011-717-8001 E-mail:matsuoka@chiikan.co.jp